

科目名	情報処理	科目コード 41180
------------	-------------	----------------

学科名・学年	物質工学科 3年	担当教官	坂井 俊彦 (物質)		
単位数	1 単位・必履修	開講期間	後期	時間数	30 時間
				内訳_(時間)	講義(26), 演習(0) 実験(0), その他(4)
教科書	プリントを配布する				
補助教材					
参考書					

A 科目の概要	
<ul style="list-style-type: none"> コンピュータ技術の発達により、コンピュータは非常に利用しやすいものとなった。反面、その中身との関わりはますます遠くなって来ている。すべての人がコンピュータの中身に敢えて触れる必要はないが、本校では技術者養成を第一目的としていることから、ある程度その中身を知る必要がある。そこで、本教科ではコンピュータをより理解し、利用の幅を広げるため、プログラミングの基礎を学ぶ。使用する言語は、5年次の計測化学で使用するBASICである。 	
B 到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> コンピュータ上でプログラムがどのような役割を果たしているのかを理解し、授業内容・計画に示したプログラミング要素を用いて、BASIC言語による基礎的なプログラミングができるようになること。 	
C 長岡高専の学習・教育目標との対応	
D 履修上の注意	
<ul style="list-style-type: none"> アプリケーションソフトを使うだけでなく、自身で簡単なソフトウェアの開発ができれば、コンピュータ利用に関する幅が大きく広がる。教えて貰うという受け身の姿勢ではなく、積極的に学び取るという姿勢で望めば、プログラミングは直ぐに上達する。 	
E 評価方法	
定期試験【70%】(前期中間(30), 前期末(40), 後期中間(0), 後期末(0))、その他の試験【0%】、レポート【0%】、その他【30%】(6回のプログラミングの課題(30), 授業中の発言(0))	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	ガイダンス	
2	コンピュータの基礎、ハードウェアとソフトウェア	
3	プログラムの構成要素	
4	式とその構成要素	
5	基本的な関数	
6	基本的な関数	
7	配列変数と Data 文	
8	中間試験	
9	配列変数と Data 文	
10	ラベルと goto 文	
11	ラベルと goto 文	
12	ファイル操作法	
13	ファイル操作法	
14	期末試験	
15	答案の返却と解説	
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		